

# JEANの取組みについて

2019年9月17日

水環境部会における環境基本計画点検ヒアリング  
一般社団法人JEAN 小島あずさ

## JEANは 海洋ごみ問題の解決のために活動しています

- ★日本での国際海岸クリーンアップ（ICC）の企画運営
- ★通年で全国規模のクリーンアップキャンペーン
- ★国際的な連携や協力の推進
- ★海洋ごみ問題についての情報収集と発信
- ★対策推進のための会議開催（海ごみサミット）
- ★普及啓発、広報、教育活動（展示物や教材制作も）
- ★国や自治体の対策への協力
- ★企業や業界団体へのはたらきかけと対策への協力
- ★漂着被害甚大地域への支援
- ★政策提言→2009年海岸漂着物処理推進法の制定へ

# 海洋ごみについての普及啓発 オリジナル展示資料、ワークショップなど



# International Coastal Cleanup=ICC

## 国際海岸クリーンアップの誕生

日本ではJEANによって1990年から

- 海のごみ問題が顕在化→生態系への影響懸念
- 拾うだけでは解決しない
- ごみは元から断つ必要がある
- 実態把握と教育・啓発が重要→拾ったごみを調べる
- 世界中で一斉に、同じ方法で
- 多くの地点で、市民が参加  
→2017年107の国と地域からから789,138人が参加  
→啓発・教育的効果が大きい

★1990年～2017年日本のICC参加者 累計387,116名

# ごみはどこから？誰が？

## 海岸や海上での発生

- 海辺での置き捨て
- 船から（船内で発生したごみ、コンテナ落下など）
- 港湾作業、漁業等の資材流出
- 別の海岸から流れてくる

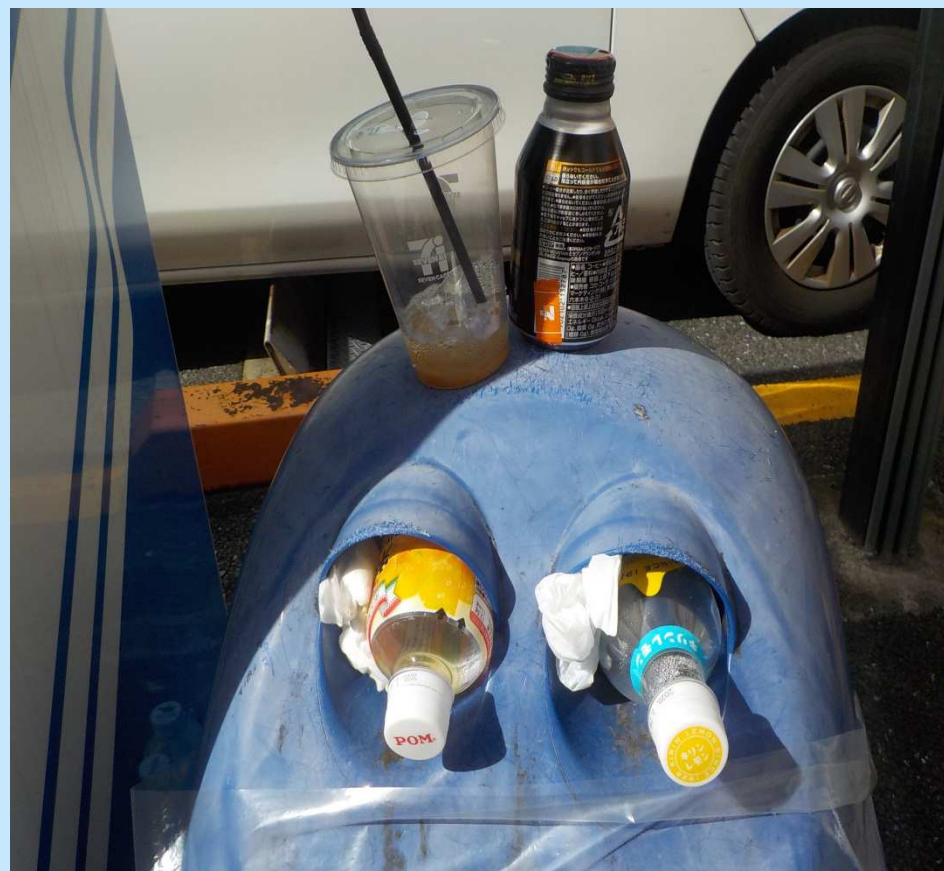
## ○陸域のごみが川などを通して流出

- ポイ捨てを含む不法投棄ごみが路上等に散乱
- 管理不十分による散乱
- **ごみ置き場などからの意図しない散乱**

# コンテナの積荷



# 空き容器回収箱と周辺



# 台風後の散乱







# 屋外で使うものは劣化しやすい

漁業、農業、土木・建築の資材等



# 人工芝



あなたの踏んだ人工芝かも？







# なお多くの課題が

- 破片化は進行中
- 海のごみは質が悪く、有効再利用が困難
- 現場の住民、NGO/NPO、市町村は疲弊しつつある
  - いつまで拾いつづけるのか
  - 全国規模のNGOへの公的支援はほとんどない
- 意図しない散乱の実態把握ができていない
- 海、川、市街地（道路含む）の管理の連携が必要
- ★モラルやマナーへの期待だけでは効果は薄
- ★使い捨てプラスチック製品の生産量削減
  - ⇒廃棄物の絶対量削減(制度設計が必要)